

---

# 天井は白かった

あそうリネ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

天井は白かつた

### 【NZコード】

N5116D

### 【作者名】

あそづりね

### 【あらすじ】

白い天井、薬品の香り、そして隣には「ココラ。

田が覚めた。

そこは見知らぬ場所。

「良かったー田が覚めたのねー！」

女の声が聞こえた。

そしてその声のする方向へ田をやると、そこには「ココリ」とこの言葉以外では形容できないような雌が立っていた。

「ココリ……」

思わずそう呟んでしまった。

すると雌は一瞬逡巡したのち、ハッとしたような顔をした。

「もしかして、私のことを覚えていないの？」

「ココラみたいな知り合になぞおらんぞ」

雌はまた少し思いあぐねるような表情をしたのち、気味の悪いニヤニヤ笑いを顔に浮かべた。

「なつなんなんだよお前気持ち悪いなー！」

「気持ち悪いだなんて……！彼女に向かってそんな……！」

雌は顔を前足で覆い、泣き出した。

……つて、彼女？

え、彼女？ゴリラが彼女？嘘だろ、嘘と言つてくれー誰でも良いから。

「ま、まさかゴリラと付き合つなんて有り得な……」

「あなたは凄く趣味が悪かつたのよ。美女からの告白を受け付けずに、私に告白していくんですもの」

マージーかーー！

「ことは、かなり人生を無駄にしているじゃーないかーなんつーことた。

「どうか、美女に告白されるつてこたあ、モテモテだつづーことだよな」

「…ええ、それはもう。あなたに会つてあなたを好きと言わない人など居なかつたわ」

やはり、モテモテだつたのか。そりゃそりゃ、「ゴリラなんかことどまるよつうな男じやねえーぞ！」

昔は趣味が悪かつたかもしぬないが、何を契機にか知らんが、生まれ変わるチャンスを得たんだ。

脱'ゴリラ'……略して脱'ゴリ'だ。

これからは美女をはべらせてハッピーな毎日を送つてやるぜー

これからが本番だぜ！

「あら、目が覚めたのね！」

「おお良かつた！」

何の前ぶれもなく、夫婦'ゴリラ'が部屋に入ってきた。

目の前の雌の両親だと見て間違いないだろ？ だって'ゴリラ'だし。

「もう話をしても大丈夫なのか？」

「は、はあ……」

なんつーか、'ゴリラ'一家と家族ぐるみのおつきあいとこつものをしていたのだろうか。

'ゴリラ'夫妻が馴れ馴れし過ぎやしないか？

ん?

ふと窓を見ると、『ココロの顔がつづつた。

あ、なるほど。

記憶喪失を利用して、雌もとい彼女もとい妹もとい『ココロに担がれたのか。

脱、ココロは一生出来そうあります。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5116d/>

---

天井は白かった

2010年11月28日03時41分発行